

公開・非公開の別	☒ 公 開	☐ 部分公開
	☐ 非公開	

浜松市基地対策協議会代表委員会会議録

- 1 開催日時 2025 年 7 月 25 日（金）午後 2 時 00 分から午後 3 時 30 分まで
- 2 開催場所 浜松市役所本館 8 階 全員協議会室
- 3 出席状況 代表委員等 17 人（会長含む）
- | | | |
|---------------|-------|-------------|
| 中野 祐介（会長） | 松本 康夫 | 平野 岳子 |
| 岩田 邦泰 | 齋藤 和志 | 井田 博康 |
| 小黑 啓子 | 倉田 清一 | 斉藤 晴明 |
| 鈴木 裕之 | 鈴木 恵 | 関 イチロー |
| 辻村 公子 | 花井 和夫 | 花井 洋介 |
| 工藤 文武（企画調整部長） | | 水谷 供子（市民部長） |

南関東防衛局 9 人

企画部	高木次長
施設対策計画課	恩田課長
周辺環境整備課	徳留課長
防音対策課	渡邊課長
住宅防音第 1 課	住宅防音企画室 須藤室長
住宅防音第 2 課	刑部課長
管理部 施設管理課	御子柴課長
企画部 地方調整課 環境対策室	新井室長
浜松防衛事務所	高橋所長

航空自衛隊浜松基地 第 1 航空団司令部 3 人

監理部 山中監理部長

渉外室 安河内室長

河鍋基地対策班長

市（関係課長等） 8 人

市民部	創造都市・文化振興課	加藤担当課長
環境部	環境保全課	佐藤課長
土木部	道路企画課	五十嵐課長補佐
	中央土木整備事務所	小出所長
消防局	消防総務課	藤田課長
	警防課	岡田課長
学校教育部	教育総務課	河島担当課長
	教育施設課	鈴木課長

事務局（市民部 市民生活課） 7 人

藤田課長
本多市民安全グループ長

松本課長補佐
市民安全グループ員(小池、伊藤、窪田、林)

- 4 傍聴者 一般7人 報道機関2社(中日新聞、静岡新聞)
- 5 議事内容 (1) 2024(令和6)年度 基地周辺整備事業(実績)について
(2) 2025(令和7)年度 基地周辺整備事業(予定)について
(3) 第41教育飛行隊移転後の報告について

6 会議録作成者 市民生活課市民安全グループ 林

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 有

8 会議記録

代表委員、他の発言は次のとおり

会長(市長) 開会挨拶

会長(市長) はじめに議題(1)の「2024年度 基地周辺整備事業(実績)」について、事務局から説明してください。

事務局 議題(1)「2024年度 基地周辺整備事業(実績)」についての概要説明

会長(市長) ただ今の説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いします。

小黑委員 法8条関係について、補助率7/10とありますが何で決められているのでしょうか。今後の見通しについても教えていただきたいです。

南関東防衛局 「民生安定施設の助成に係る補助の割合」という事務次官から出している通達に基づき決まっています。今後の見通しとして、国の予算が厳しいところではありますが、地元の皆様の要望を本省に伝え、できる限り補助率が上がるように努めていきたいです。

小黑委員 要望に応えられるような配分を検討してほしいです。

会長(市長) 他にいかがでしょうか。

(質問・意見なし)

特にないようですので、議題（１）「2024 年度 基地周辺整備事業（実績）」については、ご了承いただいたものとさせていただきます。

それでは次に、議題（２）「2025 年度 基地周辺整備事業（予定）」について、事務局から説明して下さい。

事務局 議題（２）「2025 年度 基地周辺整備事業（実績）」についての概要説明

会長（市長） ただ今の説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いします。

斉藤委員 会議資料 1－1 頁の C 消防ポンプ自動車購入事業について、前年度と比べて令和 7 年度は交付金より市費が多いですが、理由をお聞きしたいです。

事務局 特定防衛施設周辺整備調整交付金については、一次交付と二次交付で交付金額が決定されますが、現在一次交付のみ決定していますので、交付金額の一部のみを報告しており、市費が多くなっています。

斉藤委員 そうすると、最終的に前年度と同程度の割合になるのでしょうか。

事務局 補助金とは性質が異なり、全体の交付金額が決まっていて、それを市のどの事業に配分していくか考えていますので、割合は一定にならないところがあります。

会長（市長） 他にいかがでしょうか。

倉田委員 法 8 条関係の湖東和合線西山工区の進捗は少しずつという状況ですが、令和 7 年度実施予定の用地補償について概要を教えてくださいたいです。また、基地側の用地を協力してもらうフェンスの移設はいつ頃を予定しているのか確認したいです。

中央土木整備事務所 令和 7 年度については、基地南側の道路のさらに南にある合同送信所という用地の割譲に向けて手続きを進めています。また、基地側のフェンス工事は令和 8 年度以降進めていく予定です。

倉田委員 基地側の用地を割譲していただいてフェンスが下がらないと道路工事が進まないの、南関東防衛局、基地と協力して、できるだけ早期に事業を進めてほしいということを要望として申し上げます。

会長（市長） 他にいかがでしょうか。

（質問・意見なし）

それでは、他にご質問・ご意見等ないようですので、議題（2）については、ご了承いただいたものとさせていただきます。

続きまして、議題（3）「第41教育飛行隊移転後の報告について」南関東防衛局から現状の報告をお願いします。

南関東防衛局 会議資料3頁目ですが、浜松飛行場における離着陸等回数として、本年3月末までの毎月の管制回数と各年度の実績を示しております。

令和6年度の管制回数については、約28,000回となり、令和5年度と比べ、1,300回程度、離着陸回数が減っております。なお、4頁目は、昨年12月末までの毎月の管制回数と各年実績です。引き続き、T-400練習機の他の飛行場における訓練等により、できる限り離着陸回数の抑制を図ってまいります。

5頁目、浜松飛行場周辺の航空機騒音状況として、T-400移動前である令和2年度と移動後直近の令和6年度の航空機騒音自動測定結果の比較を記載しています。浜松飛行場周辺においては、航空機騒音自動測定装置を4箇所（第一種区域内2箇所、区域外2箇所）設置し、同飛行場周辺の騒音状況の把握に努めているところです。各測定地点の測定結果につきましては、第一種区域内に所在する②萩丘小学校で、1.2W増となる74.0W（Lden58.5）、③農村環境改善センターで、0.4W増となる75.3W（Lden59.8）、第一種区域外に所在する①小池会館で、0.1W減となる70.6W（Lden55.1）、④伊佐見小学校は、0.3W増となる67.5W（Lden53.0）となっております。

なお、6頁目、7頁目については、当局のホームページに掲載している資料で、令和2年4月から令和7年3月までの航空機騒音状況となります。

いずれにしても、浜松飛行場の航空機の運用につきましては、できる限り周辺住民の方々への影響を軽減できるよう配慮していくとともに、引き続き、騒音状況につきましても注視してまいりたいと考えております。

8頁目ですが、令和7年度の住宅防音工事の予算として、契約ベースで対前年度3億9千4百万円減の4億7千8百万円、歳出ベースで1億9百万円減の6億4千3百万円を確保しております。

防衛省としましては、浜松飛行場における航空機の飛行の安全確保を図るとともに、周辺住民の皆様の生活に最大限配慮してまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 会長（市長） それでは、ただいまの報告につきましてご質問・ご意見がありましたらよろしく願いいたします。
- 小黒委員 会議資料 4 頁を見ると、管制回数は T-400 配備前と比べて増えています。この協議会で管制回数低減に努めていくという回答をいただいています。が、もっと努力する必要があると考えます。考えをお聞きしたいです。
- 浜松基地 他の飛行場における離着陸訓練やシミュレーターを活用することで管制回数を低減するよう努力しています。引き続きこれまでと同様に低減に努めていきたいと考えています。
- 小黒委員 どの程度低減できるのか数字を示してほしいです。
- 浜松基地 どこまで低減できるのかすぐお答えすることが難しいですが、周辺住民への影響を軽減できるよう引き続き進めていきたいと考えています。
- 小黒委員 会議資料 5 頁の騒音状況を見ると、第一種区域内の萩丘小学校と農村環境改善センターでは T-400 移動前より騒音が大きくなっていますが、どうお考えなのか基地にお尋ねします。
- 浜松基地 浜松基地周辺では飛行経路を規定しており、その規定どおり飛行することで、まず飛行の安全を確保することとしています。これにより、周辺住民への影響を軽減できると考えています。
- 小黒委員 早朝に飛行している状況ですが、飛行訓練のスケジュールはどこで決めているのでしょうか。
- 浜松基地 浜松基地で決めており、昼の時間帯に訓練が集中してしまうと飛行場周辺や訓練空域が混雑して必要な教育訓練を安全管理しながら訓練することが困難であるため、朝の時間帯も含めて訓練を行わせて頂いています。
- 小黒委員 早朝の時間は様々な危険を伴うので配慮できないのでしょうか。早朝に飛行すること生じる危険への対応について基地はどうお考えですか。
- 浜松基地 まずは、航空機の確実な点検、操縦者による確実な運航を行い、周辺住民に不安を与えないようにしていきたいと考えています。
- 小黒委員 子供達の通園、登校の時間帯の飛行について配慮いただきたいです。

また、会議資料 7 頁を見ると、萩丘小学校の年間の騒音発生回数は令和 5 年度から令和 6 年度にかけて 1,100 回程度増えています、どういう印象でしょうか。

浜松基地 使用する滑走路の方向は、その時の風の方向によって変化いたします。また、天候の影響も受けるものなので、回数の増加はそういった要因によるものではないかと考えております。

小黒委員 T-400 移動前に比べて騒音発生回数は増えています。飛行回数、騒音を減らす努力をするという話であるが、本当に努力をしているのか疑問です。

南関東防衛局 令和 5 年 4 月に測定器の調整を行ったことにより、離陸滑走に伴う騒音等をより顕著に測定したことにより増えたものと考えていますが、Lden 値は同程度で推移しています。

小黒委員 測定器が変わっても移動前と移動後の比較はできるのでしょうか。

南関東防衛局 騒音対策の継続性を考慮し、T-400 移動後も W 値での評価を行っています。

小黒委員 飛行回数を減らすことで騒音被害も小さくなるので、減らすことを一番に考えていただきたいです。

また、防音工事の対象になるのは、第一種区域が指定された昭和 56 年までに建設された住宅で間違いないでしょうか。

南関東防衛局 第一種区域を指定する際、現に所在する住宅に対して住宅防音工事を実施しています。

小黒委員 区域指定後に家を建てた方は防音工事の対象とならないということだが、騒音状況は変わり無いです。考えを改める気はないのでしょうか。

南関東防衛局 告示後住宅の補助についても根強い要望があるのは承知しています。今後、第一種区域等の見直しに当たっては、指定再告示方式により、新たな区域内の新たな告示日時点までに建設された住宅をすべて対象とする考えがありますが、T-400 移動後、騒音測定結果は Lden、W 値ともに同程度であり、現行の第一種区域と騒音状況が大きく乖離している状況ではなく、引き続き騒音状況の把握に努めていきたいと考えています。

小黒委員	同じ騒音環境の中で暮らしているにもかかわらず、補助の対象になる方とならない方がいる状況です。見直しをお願いします。
会長（市長）	他に、ご質問・ご意見はありますか。
松本委員	実際の教育訓練や新しい取り組みについて教えてほしいです。
浜松基地	事故、事象が発生する都度、機会教育として、関連する事項の教育や実際に発生した事例と同様の環境をシミュレーターで模擬的に経験させる等の取り組みを行っています。
松本委員	安全確保の意味でも訓練生の指導を引き続きしていただきたいです。 また、飛行回数は増えているので第一種区域の見直しを検討してほしいです。
会長（市長）	他にご質問・ご意見はありますか。
関委員	会議資料 7 頁を見ると、萩丘小学校では T-400 移動後に騒音発生回数が極端に増えていますが、どうしてでしょうか。
南関東防衛局	令和 5 年 4 月から離陸前のエンジンテストや離陸滑走に伴う騒音を顕著に測定したことによるものであり、Lden 値は同程度で推移しています。
関委員	数字は増えたが状況は変わってないということですが、萩丘小学校で大きな騒音が発生しており、学ぶ生徒達の授業に差し障らないのでしょうか。対策は考えているのでしょうか。
南関東防衛局	萩丘小学校では過去に防音工事を実施しており、現在は維持費を補助しています。
会長（市長）	他にありますか。
小黒委員	Lden、W 値が横並びとのことですが、結果は平均値なので土日に飛ばないと小さくなりますし、T-400 移動後は実際 35%程度増えています。市民の負担が増えていることを理解し、早朝の飛行回数や騒音発生回数を減らすようにしてほしいです。
会長（市長）	他にありますか。

(質問・意見なし)

それでは、特段のご質問・ご意見等ないようでございますので、議題(3)についてはご了承いただいたということで、本日の議題は以上となりますが、この際ですので、代表委員の皆様から他に何かご質問・ご意見等ございましたらお願いします。

小黒委員 5月14日に発生したT-4墜落事故の原因を教えてください。

南関東防衛局 現在、事故調査委員会を立ち上げており、結果を公表する段階ではありません。国民の皆様に丁寧に説明することが重要と考えていますので、今後適切に対応していきます。

小黒委員 5月16日の記者会見で、防衛大臣はボイスレコーダー、フライトレコーダーの搭載がないため急いで対応するとのことでした。T-4全197機の内約60機は未搭載ということで不安になりましたが、浜松基地はどうなのでしょうか。

南関東防衛局 フライトデータレコーダーの搭載作業を加速させておりますが、時間を要することから、暫定措置として、その他の記録装置により飛行状況等を記録できるような体制の確保等を並行して進めています。

浜松基地 個々の基地の状況については、運用に差し支えがあるため回答を控えます。

小黒委員 状況について市民が知るのは当たり前のことです。防衛大臣は早期に搭載すると仰っていたので知りたいです。

今回墜落したT-4は1989年から運用しており、40年程度使われているものでした。浜松基地のT-4はいつ頃作られたものなのでしょうか。

浜松基地 今、製造年数については、すぐにお答えすることが難しい状況です。

小黒委員 後程、40機全てがいつ作られたものか回答してほしいです。

次に、「新田原基地所属T-4練習機の墜落について」の第6報には、所要の対策(特別な点検による機体の健全性の確保及び操縦者への安全管理、緊急時の対応等についての教育・訓練)を終了した機体及び操縦士から飛行の見合わせを解除する、とありますが、所要の対策とは何か、具体的に教えて

いただきたいです。

- 南関東防衛局 特別な点検の内容は、エンジン系統や操縦系統をはじめとした航空機が飛行するために必要となる全ての箇所、具体的には燃料および潤滑油の漏洩の有無の確認、エンジン内部やエンジン内の金属部品を探知する装置等操縦桿から各翼舵面につながる全てのケーブル、舵面を動かす各油圧装置、エンジン試運転による作動点検と出力確認、各計器の数値等の最終確認、といった内容の点検・整備を行った上で、それらが正常に作動するかどうかを確認するための試運転を行いました。この点検は、平素の点検と比べ多くの人員や時間を割いており、例えば、通常であれば外観や目視のみでしていた点検について、内部をしっかりと確認しました。教育・訓練の具体的内容については、地上における座学やシミュレーターを用いて安全管理や緊急時の対応などの教育・訓練を実施しています。
- 小黒委員 特別な点検は事故を受けて行ったものと理解します。この点検は、浜松基地では通常どのような頻度で行っていたのでしょうか。
- 浜松基地 点検の頻度は部位毎に規定されており、その規定に基づいて行っています。
- 小黒委員 現在、航空機の落下物については、半年に1度まとめて公表されていますが、T-4 墜落の件があり、皆デリケートとなっているため、落下が判明した時点で報告してもらえないのでしょうか。
- 浜松基地 周辺住民の生活に支障が出るものについてはすぐに共有するよう努めているところです。
- 小黒委員 落下物について、すぐに報告をするよう強く要望します。
最後に、防衛省から令和6年度の発注予定業務が公表されて、浜松基地では施設最適化総合設計に係る技術協力業務ということで、事業期間10年程度で500億以上700億未満の業務をこれから進める方向であることを確認しました。基地ではどういう工事をするのか、おおよその概況が分かれば教えてほしいです。
- 南関東防衛局 申し訳ないですが、担当がいないので回答できません。
- 会長（市長） 後程お答えいただければと思います。

- 小黒委員 それで結構です。
- 会長（市長） 他にご質問・ご意見はありますか。
- 松本委員 来年度予算に関して、防衛費が年々増額されていますが、令和 7 年度は前年度と補助金額、交付金額があまり変わらないことのことでした。令和 8 年度はどういう見通しなのかお答えいただきたいです。
- 南関東防衛局 防衛費は近年増額されていますが、装備関係への充当がメインでした。補助金、交付金を増額してほしいという声はよく聞きますので、承りたいです。
- 松本委員 ぜひ配慮していただきたいです。
次に、学校の体育館は交付金の対象になるのでしょうか。
- 南関東防衛局 特定防衛施設周辺整備調整交付金であれば、環境整備法施行令第 14 条第 1 項第 4 号の教育文化施設にあたるので対象となりますが、具体的な措置については、市を通してご相談いただければと思います。
- 松本委員 分かりました。文科省の制度と併せて確認していきたいです。
市にお尋ねしますが、和泉会館において、法 8 条予算を活用すると聞いていますが、現時点での進捗状況や地元からのご要望・ご意見をお聞きしたいです。
- 創造都市・文化振興課 民生安定施設助成事業の補助事業等計画書を年度当初に提出し、計画通りにいけば令和 10 年度に工事をできるという進捗状況になっています。
また、地元の方の声については、先日、自治会長と現地を確認し、補助金を使っていきたいというご要望を受け取りました。
- 松本委員 積算の単価が上がり、自治会の負担が増えることが懸念されます。柔軟な対応ができればと思いますので、要望として申し上げます。
地域と防衛局が相互に理解をしながら、柔軟な予算措置を含めてぜひお願いしたいです。わが国を守るという意味では非常に大切な教育飛行隊なので、ぜひ訓練生に対してはしっかりと安全教育を行っていただいて、安全な運用をしていただきたいです。
- 会長（市長） 他に何かご質問・ご意見がありますでしょうか。

(質問・意見なし)

それではご意見ご質問等がないようでございますので、本日より予定しておりました、議事については終了といたします。

ご協力いただきましてありがとうございました。